

様式第1号

会 議 録

| | |
|-----------------|---|
| 会 議 の 名 称 | 平成30年度 第2回 所沢市行政経営推進委員会 |
| 開 催 日 時 | 平成30年7月24日(火) 午後6時00分から午後7時45分まで |
| 開 催 場 所 | 市役所高層棟3階 301会議室 |
| 出 席 者 の 氏 名 | 石川 久、依田 素味、宇佐美 保政、清水 正幸、谷山 修一、 平岩 敏和、堀内 清則、加藤 剛毅 |
| 欠 席 者 の 氏 名 | |
| 説 明 者 の 職 ・ 氏 名 | |
| 議 題 | (1) 提言に盛り込む内容の検討 (2) その他 |
| 会 議 資 料 | 資料1(カテゴリー別)次期行政改革の取組に向けた課題について 参考資料1人口ビジョン抜粋(所沢市、川越市、川口市、春日部 市、草加市、越谷市、狭山市、入間市) 参考資料2 自主財源比率等の推移、自治体間職員数比較抜粋、市 民要望・市民満足にかかる施策順位一覧(H27~29) |
| 担 当 部 課 名 | 経営企画部長 平田 仁 経営企画部 次長 林 誠 経営企画課長 市川 勝也 経営企画課主幹 吉川 泰央 経営企画課主査 松本 しのぶ 経営企画課主査 森 真太郎 経営企画部 経営企画課 電話:04-2998-9027 |

様式第2号

| 発言者 | 審議の内容（審議経過・決定事項等） |
|-----|---|
| 委員長 | <p>石川委員長司会のもと議事を進行。 資料1をもとに各委員の意見を共有した。</p> <p>（1）提言に盛り込む内容の検討</p> <p>前回会議で確定したヒト・モノ・カネ・情報のカテゴリーごとに各委員の意見を伺いたい。</p> |
| 委員 | <p>～【ヒト】～</p> <p>まちづくりセンター直営体制を見直し人員配置最適化を図ること、シニア職員を活用すること、複数施設をグルーピングして効率的に管理することを通じた効率的な人的資源配分などを提案したい。</p> |
| 委員 | <p>赤字の続いている市民医療センターのテコ入れができないか。総合型のまま経営改善を目指すのか、療養型に転換するのか、根本的に何らかの手を打つか、考えてもらいたいと思っている。</p> |
| 委員 | <p>定年退職後のシニア層を活用して人件費の抑制をはかれないか。</p> |
| 委員長 | <p>本カテゴリーでは、シニア層の活用が最も多い意見だろうか。人材の活用・強化、モチベーションアップや民間企業をはじめとした他組織との連携も意見としてあるが、各委員において補足意見や質問・確認などはあるか。</p> |
| 委員 | <p>無用な時間外削減の仕組みとして一定時刻後の強制消灯など全庁統一的なルールや運用はあるか。</p> |

| | |
|------|--|
| 事務局 | <p>年間を通じた仕組みではないが、7～8月期間でサマータイムを実施し、時間外削減もその効果として期待している。また、職員課から時間管理に関する通知を発出し、全庁的な意識付けを行っている。最終的には、各所属長のマネジメントに委ねている。</p> |
| 委員 | <p>時間外削減に向けては、一定度の抑制と職員個人のモチベーション維持とのバランスが重要と考える。経常収支比率が硬直化している現状からすれば、全庁的に時間外を総量規制する発想のもと各所属長の目標にしてもよいのではないかと考える。時間外削減については、行革大綱の中でも目標未達成項目である。</p> |
| 事務局 | <p>所属ごとの特性に応じた対応が必要であり、一律的な抑制以上に所属長のチェック機能も重要と考えている。ただ、所属ごとの対応には限界もあるので、当課で所管している所属別定数の管理や人員配置バランスも考えていき、トータル的な施策を展開していきたい。</p> |
| 副委員長 | <p>数値管理は必要と考える。働き方改革関連法案の成立で企業に時間外労働の上限規制が導入されることを踏まれば、市役所においても数値的な目標設定を明確化すべきだろう。</p> |
| 事務局 | <p>職員1人当たりの枠配分はないが、所属ごとの枠配分があり、イメージは数値管理に近い。</p> |
| 委員長 | <p>時間外が発生する要因として、仕事量の過多、マネジメント力の不足、職員個人の能力など様々なパターンが考えられる。市として分析したことはあるか。</p> |
| 事務局 | <p>全庁統一的な分析をしたことはないが、部門ごとに業務構造をとらえ、繁忙や年度に応じたグループの柔軟な編成など対処している。</p> |
| 委員 | <p>これまでの行革大綱では「職員の意識向上」を重視してきたが、次期行革においては、「職員の意識向上」に加えて「仕組みの見直</p> |

| | |
|-------------|---|
| <p>委員長</p> | <p>し」を盛り込みたい。時間外発生につながる従来の枠組みや働き方を変化させていくべきと考える。</p> <p>最近、宿（ホテル）における働き方の変化が話題になったことがあった。1人1人の社員が自分の担当のみならず状況に応じてマルチに働くことで職場全体の効率化が図られている。</p> <p>市役所内でも特定所属の繁忙期に人員を融通し合うスタイルを導入できないだろうか。</p> |
| <p>委員</p> | <p>民間企業、官公庁問わず部署ごと・人ごとに特性はあろうかと思うので一律的な対応が難しいことも一定程度理解できる。業務特性上、キリのよいところまで完遂した方がトータルのには効率的な場合もあるはず。</p> <p>そうした状況に対応すべく、当社では、フレックスタイムを導入している。毎日同じ時間帯に働くという概念を覆し、日々の状況に応じて働く時間を選択できる。</p> |
| <p>委員</p> | <p>議会月は相当数の時間外が発生していると想像する。当該月の時間外発生要因は、議会と執行部との調整結果によるものではないだろうか。部長陣が団結し、どこまで調整を密にするか、相反する指示・矛盾する指示を取り除くことで部下の時間外を抑制できると考える。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>議会对応は主に管理職が担っているため、正確な時間外データを把握していない。</p> |
| <p>副委員長</p> | <p>次ステップの議論を展開するために、折に触れ、数値データの裏付けを意識してほしい。</p> |
| <p>委員</p> | <p>以前、青年会議所、商工会議所、市役所若手メンバーで事業を行ったことがある。短期間だったがお互いに刺激になった。中長期的なスパンで継続的に連携し、政策提言→実行という循環が形成できれば、民と官の差を埋めることや人材育成につながると感じている。</p> |
| <p>委員</p> | <p>～【モノ】～</p> <p>さいたま市が市民活動サポートセンターの指定管理者にNPO法人</p> |

| | |
|------------|--|
| <p>委員長</p> | <p>を指定していた。様々な法人・企業へ積極的に門戸を拡げ、それぞれの施設に最も適したスキル・能力をもつ事業者が施設管理することで市民サービスが最大化できると考える。</p> <p>官にはない民間のノウハウや経営資源が新たな価値や可能性を生むので、ぜひ活用してもらいたい。(株)東京ドームスポーツが指定管理を担っている施設の利用者である子供たちを、東京ドームの野球観戦に招待するなどの取組は、まさに当該事業者の経営資源が活かされている好事例である。</p> |
| <p>委員</p> | <p>不必要と判断した施設は、統廃合を含めて検討すべきと考える。</p> |
| <p>委員</p> | <p>公民館、まちづくりセンター、市民医療センターは抜本的にテコ入れが必要な施設と考えている。</p> <p>例えば、医療センターの機能を縮小して旧庁舎跡地へ移転させ、センターの跡地を民間に活用してもらうなど、乗り越えるべき課題は多かろうが、抜本的に枠組み自体を再構築するレベル感で検討してもらいたい。</p> |
| <p>委員</p> | <p>ドローンなどの最新技術を活用して施設の長寿命化を進めることや未利用保有地の活用ないしは売却を進めてほしいと思う。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>今年度から経営企画課公共施設マネジメント推進室を立ち上げて作業を進めている。H32 年度中には一定度の計画を策定する予定であり、統廃合や複合化などの道筋を、個別施設ごとに探っていく段階となる。</p> |
| <p>委員</p> | <p>先の関西の地震で課題が浮き彫りとなったインフラの長寿命化、特に水道は最も重要なライフラインだろう。所沢市の敷設管の状況はどうか、スムーズに古い管から新しい管への交換は行えているのか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>計画は策定しているので、それに沿って推進していると認識しているが、当該計画のスケジュールと実績との関係性までは把握しきれしていない。</p> |

| | |
|-----|---|
| 委員 | <p>小中学校へのエアコン設置はどのような状況か。“施設”に合わせたプランを描くのではなく、将来入学してくる、教室を使用する“人”に合わせたプランを描いてほしい。</p> |
| 事務局 | <p>現在、所沢市に適した設置手法を調査している段階なので、次年度以降に予算化の動きとなる。学校は避難施設にもなりうるので、様々な角度から検討していく。</p> |
| 委員長 | <p>～【カネ】～</p> <p>市民税の収納率が約90%。10%収納できていない事実は大きい。市民間の不公平感を払拭するためにも、集められる税金は、是非集めていただきたい。</p> |
| 委員 | <p>納税者の利便性向上という環境面の整備について、所沢市は先進的と感じている。今後、さらに向上させるべく Pay-B（※）の導入も提案したい。</p> <p>（※）スマートフォン決済アプリ。払込票に記載されたバーコード等を読み込んで指定の預金口座からリアルタイムで決済できるサービス</p> |
| 委員 | <p>所沢市の収納状況が同じ規模の他市と比べて何位なのか、その立ち位置を意識化することが重要だと思う。経常収支比率が示すように市財政は硬直化しているので、ぜひ体制を整えて収納対策にあたってもらい、歳入を確保してほしい。</p> <p>また、団体補助金はどのように見直しているのか。歳出が抑制できる仕組みなのか。</p> |
| 事務局 | <p>3年に1度の頻度で補助金等審査委員会という会議体において適正性を審査している。このことで所属ごとに抑制効果が働き、不必要な補助金の拡大などを防いでいると考える。</p> |
| 委員 | <p>財政力強化を達成するには、歳入を拡大し、歳出を削減するしかない。歳入拡大の一環として、法人市民税を確保するために、市独自の開業支援などを検討できないか。</p> |
| 事務局 | <p>企業立地奨励金制度等を既に整備しているが、そもそもの産業用</p> |

| | |
|------|--|
| 委員 | <p>地が不足している課題が当市にはあるため、産業用地拡大の政策を展開している途上である。</p> <p>法人市民税は逡減傾向にあり、市内企業が下り傾向なのは大きな課題である。今話題にあがった用途変更のスピードをより一層加速化すべきである。</p> |
| 事務局 | <p>当市もスピードアップを図りたいが、埼玉県との関係性において、まずは旧暫定逆線引き地区の解消を優先しているところである。</p> |
| 事務局 | <p>まずは、すべきことを確実に実行すべき、との県のスタンスもあり、旧暫定逆線引き地区の解消を果たさねばならないが、既に全地区の方向性は見えており、次の段階へと着実に進んでいる。</p> |
| 委員 | <p>首都圏の中で今これだけ駅前開発をしている街はなかなか見当たらない。が、新施設が既存施設とライバル関係になって共倒れになることを危惧している。逆に、ともに連携し駅を中心とした一大ショッピングエリアを形成してほしいと考えている。ただ、受け身で自然と成功はしないので、行政も含め関係者で連携して、“所沢”へ魅力あるテナントを誘致し、Win-Win の関係を形成してもらいたい。</p> <p>また、市全体をマクロに見れば、街全体としての魅力・可能性に溢れている。デパート、野球、自然、ひとつの街で多様な楽しみ方ができる。「ふらっと行ってみれば何かある街」にも関わらず、そうした情報を発信しきれていない感がある。情報発信に注力し、人を集めるアクションが必要と考える。</p> <p>さらに言えば、少子化によって減少する日本人ばかりをターゲットにせず、今後増加するであろう外国人を積極的に誘致し、旅行者・観光者のみならず定住者を増やすことも選択肢と思う。街角のカフェにふと外国人がいる街はおしゃれな印象を受けるのではないか。埼玉の恵比寿的な街になれば、イメージアップが図れ、相乗効果でまた人を呼び込むことができる。専門部署を設置して対応にあたるべきタイミングにさしかかっていると思う。</p> |
| 副委員長 | <p>保育園とゴミ収集運搬の委託が他市と比べると今一步進んでい</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>ないと聞いている。民間委託の推進も是非俎上にあげたい。</p> <p>市立保育園・民間保育園の両方を経験した者として発言しておきたいが、民間の質が市立のそれと比べて劣るということはない。</p> |
| 委員長 | <p>保育園に限らず、あらゆる分野において、公が優れていて、民間が劣っているということは、決してない。そうした意見・考えは幻想に過ぎない。</p> |
| 委員 | <p>ところざわ未来電力はどんな状況か。もし損失が生じれば、資本金割合に応じた負担を求められるので心配している。</p> |
| 委員長 | <p>様々な企業が同分野に次々と参入している中で、所沢市も税金を投下し参入することが果たして適当なのか、同じく心配である。</p> |
| 事務局 | <p>今はまだ売電までいたっておらず、電力の確保をしている段階。他の第三セクター同様、経営健全化に向けては継続的に監視していく。</p> |
| 委員 | <p>公共施設の利用料金が30年も40年も据え置かれた状況では、施設の取り壊しはもとより、更新費用ですらも捻出できないのではないかと。</p> |
| 事務局 | <p>一定期間ごとの各種利用料・手数料等を見直すために全庁的な方針、ガイダンスは定めている。既存施設利用料をそうした方針にそって見直していく作業が必要であり、継続的な議論をしている。最終的には、市民の声を聞きながら進めていく必要があると考えている。</p> <p>また、別要素として、施設の相互利用を展開している近隣他市とも調整が必要と認識しており、その自治体においても市民の声の影響してくるとも思っている。</p> |
| 委員 | <p>施設新設時の利用料設定段階では市民の声は聞いていなかったはずではなかろうか。受益者負担が不完全な分は、一般財源から充当する構図なので、財政運営にしわ寄せがいくことを危惧している。</p> |

| | |
|-----|--|
| 委員長 | <p>広域行政のメリット・デメリットがある。関係自治体の意見を尊重し過ぎて平行線をたどるとすればデメリットになろうが、逆に広域で実施することで方向性を統一すれば推進力として大きなメリットになると思う。</p> |
| 委員 | <p>ダイアプラン構成市で完全一致しなければ見直しできないわけではないなら、所沢市の考えで独自に進めてよいと思う。</p> |
| 委員 | <p>各施設の利用者は市民全体のごく一部。市民間で不公平感があるかと思うので、周辺との調整を重視し過ぎずに取り組んでほしい。</p> |
| | <p>～【情報・その他】～</p> |
| 委員 | <p>西武鉄道は、川越や秩父を観光ルートとして推している。トトロやサクラタウンを活用し、所沢もここに入り込めないものかと考えている。</p> |
| 委員 | <p>情報は、所沢市内のみならず市外を意識して発信していかねばならない。</p> |
| 委員 | <p>市政の情報発信方法に工夫を求めたい。発信していないわけではないが、その情報がターゲットにあまねく届いていない。「市の仕事報告会」のような対面形式のものも、その映像を Web 上で共有するだけですそ野が広がる。</p> |
| 委員 | <p>市民の声を市政の各分野にしっかりと反映できる広聴の仕組みをさらに検討してもらいたい。</p> <p>また、広報機能については、様々な媒体を活用して市政の取り組みなどを発信してもらいたい。例えば、KADOKAWA と関係があるダウンロードと連携して「市の仕事報告会」の動画を配信するなど可能性が広がる。</p> <p>市主体の情報発信のみならず、SNS による市民主体の発信を促し、“いいね” の数に応じたインセンティブを付与してみてもよい。そうした下地は、災害時も力を発揮することが期待されるので防災の観点からも有益と考える。</p> |

| | |
|-----|--|
| 委員 | <p>線引き後の宅地は限定宅地のため売買等に制約があり、結果的に空き家の増加にもつながっている。市街化区域のみならず市街化調整区域も含んだ空き家対策に取り組む必要があると考えている。</p> |
| 委員 | <p>所有者不明の土地利用について特措法が成立した。条例で一步踏み込んで、民間利用まで可能にできないか。所沢市が本件の先進事例になってもらいたい。</p> |
| 委員 | <p>所沢ブランドの確立や所沢への愛着を強化する情報発信をしていただきたい。</p> |
| 委員長 | <p>市はインターネットや広報紙を通じて、情報を発信しているつもり、記載しているつもりで、全市民が知っているだろうと思いきこんでいるが、伝わってはいない。この現象はどこの自治体も同様。</p> |
| 委員長 | <p>～【まとめ】～</p> <p>本日うかがった各委員の意見を踏まえ、私が素案を作成する。素案を委員間で共有し、意見を頂戴しながら次回会議につなげていく。</p> <p>(2) その他</p> <p>次回会議日程の候補日を各委員のスケジュールを確認しながら絞り込んだ。</p> <p>後日、最終決定後、事務局より各委員へEメールにて提示することを確認した。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> |

| | |
|--------------------|--|
| 次回までの ToDo 等まとめ | <ul style="list-style-type: none">① 委員長が提言の素案を作成する。② 委員間で素案を共有し、各委員が案に対する意見を委員長へ報告する。③ 第3回委員会の開催候補日を事務局から各委員へEメールにて提示する。 |
|--------------------|--|